

## ICT活用工事（土工）積算要領

### 1. 施工パッケージによる積算

施工パッケージによる積算基準の土工（ICT）及び法面整形（ICT）により積算を行う。

### 2. ICT 建設機械経費

建設機械の経費は、賃料または損料により計上し、以下のとおりとする。

#### （1）賃料による建設機械

##### 1）対象建設機械

- ・ ICT バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(2011 年規制)] 山積 0.8m<sup>3</sup>(平積 0.6m<sup>3</sup>)

##### 2）賃貸料

62,000 円／日

#### （2）損料による建設機械

##### 1）対象建設機械

- 2. （1）1）の ICT バックホウ以外のバックホウ及びブルドーザ

##### 2）損料

「建設機械等損料算定表」（平成 30 年度版）によるものとする。

### 3. ICT 建設機械経費加算額

加算額は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、2.（2）損料による建設機械に計上する。

なお、加算額は、「土木工事標準積算基準書」Ⅱ-1-②-40 4. ICT 建設機械経費加算額のとおりとする。

#### （1）掘削（ICT）、法面整形（ICT）

対象建設機械：バックホウ

※2. （1）賃料による建設機械（ICTバックホウ）（山積み：0.8 m<sup>3</sup>級）については、機械経費に含まれているため、ICT 建設機械経費加算額は計上しない。

#### （2）路体（築堤）盛土（ICT）、路床盛土（ICT）

対象建設機械：ブルドーザ

### 4. その他 ICT 建設機械経費等

ICT 建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。

#### 4-1 保守点検

ICT 建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。

##### (1) 掘削 (ICT)

$$\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.05(\text{人/日}) \times \frac{\text{施工数量(m3)}}{\text{作業日当り標準作業量 (m3/日)}}$$

(注) 作業日当り標準作業量は「第 I 編第 13 章その他 ①作業日当り標準作業量」の標準作業量による。

(注) 施工数量は、ICT 施工の数量とする。

##### (2) 法面整形工 (ICT)

$$\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.05(\text{人/日}) \times \frac{\text{施工数量(m2)}}{\text{作業日当り標準作業量 (m2/日)}}$$

(注) 作業日当り標準作業量は「第 I 編第 13 章その他①作業日当り標準作業量」の ICT 標準作業量による。

##### (3) 路体 (築堤) 盛土 (ICT) 、路床盛土 (ICT)

$$\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.11(\text{人/日}) \times \frac{\text{施工数量(m3)}}{\text{作業日当り標準作業量 (m3/日)}}$$

(注) 作業日当り標準作業量は「第 I 編第 13 章その他①作業日当り標準作業量」の ICT 標準作業量による。

#### 4-2 システム初期費

ICT 施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、「土木工事標準積算基準書」II-1-②-40 5-2 システム初期費のとおりとする。

##### (1) 掘削 (ICT) 、法面整形 (ICT)

対象建設機械：バックホウ

##### (2) 路体 (築堤) 盛土 (ICT) 、路床盛土 (ICT)

対象建設機械：ブルドーザ

#### 4-3 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用

3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。

## 5. 受注者希望型における変更積算方法

受注者からの提案・協議により ICT 施工を実施した場合は、ICT 施工現場での施工数量に応じて変更を行うものとし、施工数量は ICT 建設機械の稼働率を用いて算出するものとする。

掘削 (ICT) の変更積算は、ICT 建設機械による施工歩掛 (以下、「掘削 (ICT) [ICT 建機使用割合 100%] 」という。) と通常建設機械による施工歩掛 (以下、「掘削 (通常) 」という。) を用いて積算するものとする。

### (1) 変更積算

現場での ICT 施工の実績により、変更するものとする。

#### ① ICT 土工にかかる ICT 建設機械稼働率の算出

ICT 建設機械による施工日数 (使用台数) を ICT 施工に要した全施工日数 (ICT 建設機械と通常建設機械の延べ使用台数) で除した値を ICT 建設機械稼働率とする。

$$\text{ICT 建設機械稼働率} = \frac{\text{ICT 建設機械による施工日数 (使用台数)}}{\text{ICT 施工に要した全施工日数 (ICT 建設機械と通常建設機械の延べ使用台数)}}$$

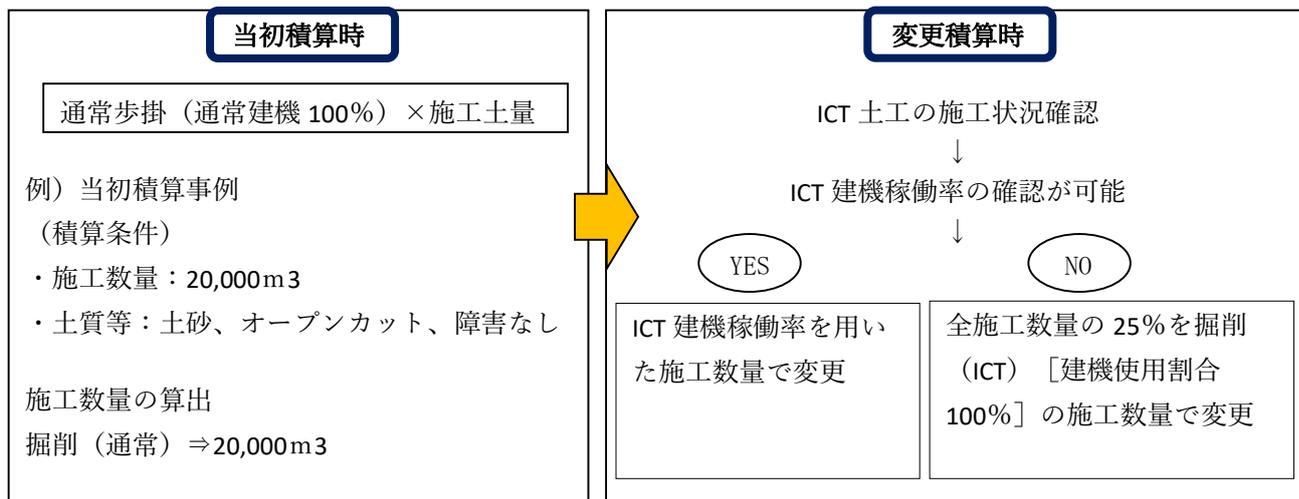
なお、ICT 建設機械稼働率は、小数点第 3 位を切り捨て小数点第 2 位止とする。

#### ② 変更施工数量の算出

ICT 土工の全施工数量に ICT 建設機械稼働率を乗じた値を ICT 施工 (掘削 (ICT) [ICT 建機使用割合 100%] ) の施工数量とし、全施工数量から ICT 施工 (掘削 (ICT) [ICT 建機使用割合 100%] ) を引いた値を通常施工 (掘削 (通常) ) の施工数量とする。

ICT 建設機械稼働率を乗じた値は四捨五入した数値とし、数位は当初積算に準ずるものとする。

なお、ICT 施工は実施しているが、ICT 建設機械稼働率を算出するための根拠資料が確認できない場合は、従来の ICT 建機使用割合相当とし、全施工数量の 25% を ICT 施工 (掘削 (ICT) [ICT 建機使用割合 100%] ) により変更設計書に計上するものとする。



変更積算事例

【ICT 建機稼働率、施工数量の算出】

- 受注者が提出する稼働実績の資料で確認
  - ・ ICT 建機 7 基 ÷ 延べ使用建機台数 10 基 = 0.7
  - ・ 20,000m<sup>3</sup> × 0.7 = 14,000m<sup>3</sup>

【設計書への反映】

掘削 (ICT) [ICT 建機使用割合 100%] ⇒ (当初) 0m <sup>3</sup>	⇒ (変更) 14,000m <sup>3</sup>
掘削 (通常) ⇒ (当初) 20,000m <sup>3</sup>	⇒ (変更) 6,000m <sup>3</sup>

- 受注者が提出する稼働実績の資料で確認できない場合  
⇒ 稼働実績が適正と認められないため、全施工数量の 25%とする

【設計書への反映】

掘削 (ICT) [ICT 建機使用割合 100%] ⇒ (当初) 0m <sup>3</sup>	⇒ (変更) 5,000m <sup>3</sup>
掘削 (通常) ⇒ (当初) 20,000m <sup>3</sup>	⇒ (変更) 15,000m <sup>3</sup>

◎受注者が提出する稼働実績の資料（イメージ） \*全施工数量を ICT 建機により施工した場合

	2/1(木)	2/2(金)	2/3(土)	2/4(日)	2/5(月)	2/6(火)	2/7(水)	台数	延べ使用台数
ICT 建機	1	1	休工	休工	1	1	2	6	6
通常建機	0	0	休工	休工	0	0	0	0	

◎受注者が提出する稼働実績の資料（イメージ） \*施工数量の一部を通常建機により施工した場合

	2/1(木)	2/2(金)	2/3(土)	2/4(日)	2/5(月)	2/6(火)	2/7(水)	台数	延べ使用台数
ICT 建機	1	1	休工	休工	1	1	2	6	9
通常建機	1	1	休工	休工	1	0	0	3	